

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

学校名	有田町立大山小学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>○本校の教育活動への保護者や地域の関心が高く、期待が大きいことが、自由記述欄への意見などにより窺うことができる。また、保護者や児童へのアンケート結果から、本校の今年度重点的目標はほぼ達成できたと考える。特に、タブレットを活用したオンライン学習は保護者に好評であった。</p> <p>○来年度も、ふるさと大山を誇りに思う児童の育成を目指し、地域に開かれた学校として、コミュニティ・スクールを活用し、地域や保護者との連携が密になるように情報を発信したり、地域との連携行事に取り組んでいきたい。また、本校教育目標を柱に、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成をめざし、児童一人一人を大切にすることを進め、実際に応じた学力の向上、道徳教育の推進、健康・体力作り等にさらに力を入れていきたい。また、タブレットを活用したICT活用教育の推進に努めていきたい。</p>
2 学校教育目標	<p>「おいに学び やさしく まっすぐ伸びる」大山っ子の育成 ～「知・徳・体のバランスの取れた児童の育成」～</p>
3 本年度の重点目標	<p>1 学力の向上…①校内研究：主体的に学ぶ授業の創造（4年次）～自分の考えをもち、表現する力を育てる算数科学習指導の工夫～②ICT活用の工夫 2 心の教育の充実…①人権・同和教育の推進…自尊感情を向上②「特別の教科道徳」と特別活動を絡めながら行う教育活動の充実③いじめの未然防止、不登校傾向への対応④児童一人一人の特性に応じた教育活動の充実と保護者や関係機関との連携 3 健康安全教育の充実…①体力の形成と運動能力の向上を図る運動環境の充実②「危機に強い学校」の構築</p>

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	・学習状況調査結果の分析を行い、児童のつまずきや授業改善のポイントを明らかにし、授業実践に活かしていく。
	○タブレットを活用した情報伝達能力の向上 ○学力向上タイムでの学力向上への取組及び「分かる授業」の工夫、実践。 ○「読み」活動の充実	○「授業が分かる」と回答した児童の割合を85%以上	・「西部型授業」の学習過程を基本とし、「対話活動」の場を確実に設定する。 ・授業や「学力向上タイム」を効果的に活用し、基礎学力の向上に努める。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自分と他人との違いを認め、「自分や友だちのよさを見つけられる」と85%以上の児童が感じることができる。	・道徳の時間の充実に努め、「考える道徳」の実践を継続する。 ・「Q-U」を分析し、学級の実態を捉え、個に応じた指導を充実させる。
	○いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○日々の観察や児童とのコミュニケーションを強化し、保護者やスクールカウンセラーとの連携を図る。	・定期的にいじめ調査(職員・児童・保護者)を行い、実態把握に努める。 ・週1回の連絡会で、気になる児童の情報共有を行い、組織として対応する。
	◎志を高める教育	◎「将来の夢や希望、目標をもっている。」に肯定的に回答が85%以上とする。	・キャリアパスポートを活用し、将来への目標意識を育て、自信や誇りを高める。
○健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	②本校生徒指導重点目標「挨拶」「たてわり掃除と集団登校」「学校のきまり遵守」ができた児童を90%以上にする。 ②朝食摂取率90%以上を目指し、保護者への啓発活動を行う。	・生活のめあての内容を、毎月の重点指導内容に位置づけたり、良好項目については随時承認・称賛したりする。 ・年間2回「おにぎり弁当の日」を設定し、家族で「食」を考える機会を設ける。
	④「安全に関する資質・能力の育成」	④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・避難訓練、防犯教室、交通安全教室等を実施する。 ・安心、安全な学校づくりに努める。
○業務改善・教職員の働き方改革の推進	○業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	○教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・稼業日平日は、18時まで、定時退勤日(毎週金曜日)は、17時半までに全員帰宅の、確実な実施を行う。 ・稼業月時間外勤務40時間以内実施。
	○学校運営組織力の向上	○組織体制の効率化と機能の強化と会議や事務の効率化、校務の能率化。	・会議時間の設定や資料の事前配布等を確実に実行。 ・主に企画委員会で行事・企画を精選し、組織的に活動しやすい環境整備。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○地域の人的・物的資源の活用	○継続的、系統的に計画された教育活動の中で育成するふるさとへの誇りを、主体的に行動できる力を育成する。	○「ふるさと大山にほこりをもち、大山地区のことが好きである。」と考えている児童を90%以上にする。	・地域からゲストティーチャーを招き、体験活動を通じた学びを充実させることでふるさとを愛する心を育てる。
○保護者との連携	○保護者の思いや願いへの対応	○「学校は、保護者の相談や要望に誠実に対応している」と実感する保護者の割合を90%以上にする。 ○「学校はよく情報を伝えており学校の様子がよく分かる」と回答する保護者の割合を85%以上にする。	・学校HPの充実 ・学校・学級・保健などの通信を定期的に行う。
○特別支援教育の充実	○個に応じた支援体制の充実と教員の専門性、認識の向上	○「特別支援に関する理解が深まった。」と回答する教員を80%以上にする。	・専門性の高い講師による職員研修の実施。 ・事案に応じた関係職員の情報共有。 ・外部専門機関との連携。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------